

# 安城市内景況調査結果 (平成23年1月～3月)

〈 依然、厳しい業況が続く中、東日本大震災の影響が懸念 〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 150企業  
 2. 調査対象時期 平成23年1月～3月期

(1)前年同期(平成22年1月～3月)と比べた今期の状況  
 (2)今期と比べた来期(平成23年4～6月)の先行き見通し

### 3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	41	36	41	32	150
構成比	27.3%	24.0%	27.3%	21.4%	100%

安城市内の今期の業況判断DIは、前年同期と比較し△21.3ポイント下降したが、製造業における業況判断DIは唯一プラスとなった。

来期の業況判断DIについては、さらに△17.4ポイントの下降を見込んでおり、東日本大震災の影響も受け、回復に向けた先行きは依然不透明感のある予想である。

#### 【産業別の状況】

- ・製造業では、業況判断・借入難度が前年同期対比を上回ったものの、来期の見通し業況判断は、△30ポイント以上となった。
- ・小売・卸業では、業況判断が全業界の中で最も悪化が見られ、来期の見通しも業況判断・売上高ともに△44.4ポイントとなり、収益業況も△50.0ポイントであった。
- ・建設業では、雇用人員は唯一プラスとなっており、来期の見通しも全業種の中で、業況判断が△34.1ポイントと最も良いポイントであった。
- ・サービス業は、業況判断・売上高・売上単価ともに△30ポイント以上であり、来期の見通しはともに△40ポイント以上を上回った。



	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△39.2	△21.3	△38.7
売上高	△35.1	△22.7	△42.0
売上単価	△39.2	△30.0	△29.3
資金繰り	△31.1	△22.7	△37.3
借入難度	△8.1	△9.3	△15.3
収益状況	△36.5	△22.7	△46.7
雇用人員	9.5	△2.7	4.0

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△21.3		2.4		△38.9		△17.1		△37.5	
	売 上 高	△22.7		0.0		△33.3		△29.3		△31.3	
	売 上 単 価	△30.0		△12.2		△25.0		△48.8		△34.4	
	資 金 繰 り	△22.7		△14.6		△22.2		△31.7		△21.9	
	借 入 難 度	△9.3		4.9		△2.8		△24.4		△15.6	
	収 益 状 況	△22.7		△12.2		△19.4		△31.7		△28.1	
	雇 用 人 員	△2.7		△7.3		0.0		4.9		△9.4	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△38.7		△36.6		△44.4		△34.1		△40.6	
	売 上 高	△42.0		△41.5		△44.4		△41.5		△40.6	
	売 上 単 価	△29.3		△22.0		△16.7		△39.0		△40.6	
	資 金 繰 り	△37.3		△41.5		△36.1		△41.5		△28.1	
	借 入 難 度	△15.3		△9.8		△8.3		△24.4		△18.8	
	収 益 状 況	△46.7		△46.3		△50.0		△48.8		△40.6	
	雇 用 人 員	4.0		4.9		2.8		7.3		0.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。